

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第4378050号
(P4378050)

(45) 発行日 平成21年12月2日(2009.12.2)

(24) 登録日 平成21年9月18日(2009.9.18)

(51) Int.Cl.

F I

G O 6 F 13/00 (2006.01)

B 4 1 J 29/38 (2006.01)

G O 6 F 3/12 (2006.01)

G O 6 F 13/00 3 5 7 A

G O 6 F 13/00 3 5 3 B

B 4 1 J 29/38 Z

G O 6 F 3/12 D

請求項の数 12 (全 21 頁)

(21) 出願番号 特願2000-397722 (P2000-397722)
 (22) 出願日 平成12年12月27日(2000.12.27)
 (65) 公開番号 特開2002-196995 (P2002-196995A)
 (43) 公開日 平成14年7月12日(2002.7.12)
 審査請求日 平成15年11月26日(2003.11.26)
 審判番号 不服2006-3912 (P2006-3912/J1)
 審判請求日 平成18年3月2日(2006.3.2)

(73) 特許権者 000001007
 キヤノン株式会社
 東京都大田区下丸子3丁目30番2号
 (74) 代理人 100090538
 弁理士 西山 恵三
 (74) 代理人 100096965
 弁理士 内尾 裕一
 (72) 発明者 土樋 直基
 東京都大田区下丸子3丁目30番2号キヤ
 ノン株式会社内

合議体

審判長 大野 克人

審判官 五十嵐 努

審判官 清水 稔

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 情報管理装置及び情報管理方法

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ネットワークを介して外部装置と接続されると共に、デバイス装置に装着され、当該ネットワークを介して外部装置から受信した要求に応じて当該外部装置が当該デバイス装置を遠隔操作するためのWebページを構成するコンテンツデータを当該外部装置に送信する情報管理装置であって、

前記外部装置から要求されたコンテンツデータが前記デバイス装置の機種に依存するものであるか否かを判断する判断手段と、

前記判断手段によって、前記コンテンツデータが前記デバイス装置の機種に依存するものでない判断された場合、当該コンテンツデータを前記情報管理装置内の記憶部から取得し、前記コンテンツデータが前記デバイス装置の機種に依存するものであると判断された場合、前記デバイス装置の機種に依存し前記デバイス装置でのオプション機器の装着状況に応じて変わるコンテンツデータを前記デバイス装置内の記憶部から取得する取得手段と、

前記取得手段により取得された前記コンテンツデータが外部装置に送信されるように制御する送信制御手段と

を有することを特徴とする情報管理装置。

【請求項 2】

前記判断手段は、前記受信した要求に含まれている前記コンテンツデータを識別する識別情報に基づいて、当該コンテンツデータが前記デバイス装置の機種に依存するものであ

るか否かを判断することを特徴とする請求項 1 記載の情報管理装置。

【請求項 3】

前記識別情報はパス名であり、

前記判断手段は、前記パス名に含まれているディレクトリ部分に基づいて、前記コンテンツデータが前記デバイス装置の機種に依存するものであるか否かを判断することを特徴とする請求項 2 記載の情報管理装置。

【請求項 4】

前記識別情報は、URL 表記されていることを特徴とする請求項 2 或いは 3 に記載の情報管理装置。

【請求項 5】

前記情報管理装置は、前記デバイス装置に装着されるネットワークボードであることを特徴とする請求項 1 乃至 4 の何れかに記載の情報管理装置。

【請求項 6】

前記コンテンツデータは、前記デバイス装置に関する情報をブラウザで表示するための表示用ドキュメントデータに従って、前記外部装置から要求されることを特徴とする請求項 1 乃至 5 の何れかに記載の情報管理装置。

【請求項 7】

ネットワークを介して外部装置と接続されると共に、デバイス装置に装着され、当該ネットワークを介して外部装置から受信した要求に応じて当該外部装置が当該デバイス装置を遠隔操作するための Web ページを構成するコンテンツデータを当該外部装置に送信する情報管理装置における情報管理方法であって、

前記外部装置から要求されたコンテンツデータが前記デバイス装置の機種に依存するものであるか否かを判断する判断ステップと、

前記判断ステップによって、前記コンテンツデータが前記デバイス装置の機種に依存するものでないと判断された場合、当該コンテンツデータを前記情報管理装置内の記憶部から取得し、前記コンテンツデータが前記デバイス装置の機種に依存するものであると判断された場合、前記デバイス装置の機種に依存し前記デバイス装置でのオプション機器の装着状況に応じて変わるコンテンツデータを前記デバイス装置内の記憶部から取得する取得ステップと、

前記取得ステップにより取得された前記コンテンツデータが外部装置に送信されるように制御する送信制御ステップと

を有することを特徴とする情報管理方法。

【請求項 8】

前記判断ステップは、前記受信した要求に含まれている前記コンテンツデータを識別する識別情報に基づいて、当該コンテンツデータが前記デバイス装置の機種に依存するものであるか否かを判断することを特徴とする請求項 7 記載の情報管理方法。

【請求項 9】

前記識別情報はパス名であり、

前記判断ステップは、前記パス名に含まれているディレクトリ部分に基づいて、前記コンテンツデータが前記デバイス装置の機種に依存するものであるか否かを判断することを特徴とする請求項 8 記載の情報管理方法。

【請求項 10】

前記識別情報は、URL 表記されていることを特徴とする請求項 8 或いは 9 に記載の情報管理方法。

【請求項 11】

前記情報管理装置は、前記デバイス装置に装着されるネットワークボードであることを特徴とする請求項 7 乃至 10 の何れかに記載の情報管理方法。

【請求項 12】

前記コンテンツデータは、前記デバイス装置に関する情報をブラウザで表示するための表示用ドキュメントデータに従って、前記外部装置から要求されることを特徴とする請求

10

20

30

40

50

項 7 乃至 11 の何れかに記載の情報管理方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、デバイス装置を管理するためのデバイス装置に関する情報を提供する情報管理装置及び情報提供方法に関するものである。

【0002】

【従来の技術】

近年、インターネットの普及により、印刷装置もネットワークで使われる形態が一般化してきた。通常、高速機やカラー機などの高価格機では、ネットワークインターフェイスが装置に内蔵される傾向にあるが、低価格なモノクロ機の場合には、ネットワークインターフェイスは本体には同梱されず、ネットワークカードモジュール（或いは、ネットワークボード）として別に供給される形態が一般的である。

10

【0003】

この場合、印刷装置本体とネットワークカードモジュールとは、個々にCPUを持ったインテリジェントな装置であり、それぞれの装置が接続インターフェイスを介して通信を行って所望のサービスを実装している。

【0004】

これにより、負荷の重いネットワークサービスをネットワークカードモジュールに行なわせることができ、さらに、ネットワークサービスの負担がないだけ印刷装置本体のCPUや周辺パフォーマンスを下げることができる。よって、印刷装置本体のコスト削減が図られる。

20

【0005】

しかし、従来のネットワークインターフェイスでは、例えば1pprに代表されるようなホストコンピュータから印刷装置への印刷データの送信だけが行なわれればよかったが、昨今、ホストコンピュータから印刷装置の情報管理を行なうというニーズが高くなっている。そのため、付加技術として各種の手段が提供されている。

【0006】

最も単純な例が、印刷データを送信するポートで情報管理データ（ジョブ制御言語）をも送信するという形態である。ジョブ制御言語では、印刷データを送るポートを共有するため、サービスポートを別途増加する必要がなく、比較的実装が簡単である。

30

【0007】

しかし、大量の印刷データがそのポートで転送されると、ポートが印刷データの転送に占有されるため、情報管理データのやりとりが止まってしまうという問題がある。また、1pprプロトコルのような片方向型コネクションのプロトコルでは、そもそもホストコンピュータから印刷装置を制御することができても、情報取得することができないという欠点がある。

【0008】

次の手法として、SNMP/MIBを使った方式がある。これは、データ送受信用の専用ポートを使用し、標準規格であるSNMP(Simple Network Management Protocol)を使って、ホストコンピュータから印刷装置の情報管理を行なう方法である。

40

【0009】

しかし、この方式では、SNMPを用いてMIB情報を取得して、印刷装置の情報管理のためのUI(User Interface)を提供する専用クライアントプログラムが独自開発される必要がある。なおかつこの方式では、SNMPがそもそも単純な情報のやり取りを行うプロトコルであるため、MIBでは数字、文字列などの単純なデータベースしか提供できない。

【0010】

その結果、機器の構成を視覚的に示すビットマップ画像など、情報管理のためのUIを構

50

成するのに必要な情報は、クライアントプログラムで所有されなければならない。それに伴い、クライアントプログラムは、印刷装置の機種ごとに機種対応しなくてはならないという問題点がある。

【 0 0 1 1 】

【 発明が解決しようとする課題 】

そこで、ネットワークカードモジュールが H T T P (H y p e r T e x t T r a n s f e r P r o t o c o l) サービスによって、機器情報を示す H T M L (H y p e r T e x t M a r k u p L a n g u a g e) データやビットマップ画像 (ビットマップデータ) などの W e b コンテンツを提供し、クライアント (ホストコンピュータ) では、一般的な W e b ブラウザが前記 W e b コンテンツを G U I 上に表示し、ユーザによる操作を可能とすることにより、専用のクライアントプログラムがなくても同様の効果を得ることが可能である。

10

【 0 0 1 2 】

上記述べた H T T P サービスはネットワークの一機能であるため、ネットワークカードモジュール上に実装可能な機能である。そして、ネットワークカードモジュールは、共通化による開発コストの低減と量産化による製品コストの低減のために、通常、複数のモデル (機種) の印刷装置に接続可能に設計されている。

【 0 0 1 3 】

しかし、複数のモデルがある場合、各モデルの印刷装置は個々のモデルに固有な情報を持ち、個々のモデルに応じたメッセージが装置の管理のために必要である。そのため、ネットワークカードモジュールがそれらすべての固有情報をサポートするためには、ネットワークカードモジュールがすべてのモデルの固有情報を有していなければならない、ネットワークカードモジュールの R O M 容量が増加してコストも増加する。

20

【 0 0 1 4 】

さらに、ネットワークカードモジュールが、ネットワークカードモジュールの発表の後に発売されるであろう印刷装置の固有情報にも対応するようにするためには、その都度、ネットワークカードモジュールのファームウェアの書き換えが行われなくてはならない。そのため、必要以上のメンテナンス作業が発生してしまい、さらにコストが高くなってしまいうという問題点がある。

【 0 0 1 5 】

30

【 課題を解決するための手段 】

上記課題を解決するために本発明における情報管理装置は、ネットワークを介して外部装置と接続されると共に、デバイス装置に装着され、当該ネットワークを介して外部装置から受信した要求に応じて当該外部装置が当該デバイス装置を遠隔操作するための W e b ページを構成するコンテンツデータを当該外部装置に送信する情報管理装置であって、前記外部装置から要求されたコンテンツデータが前記デバイス装置の機種に依存するものであるか否かを判断する判断手段と、前記判断手段によって、前記コンテンツデータが前記デバイス装置の機種に依存するものでないとは判断された場合、当該コンテンツデータを前記情報管理装置内の記憶部から取得し、前記コンテンツデータが前記デバイス装置の機種に依存するものであると判断された場合、前記デバイス装置の機種に依存し前記デバイス装置でのオプション機器の装着状況に応じて変わるコンテンツデータを前記デバイス装置内の記憶部から取得する取得手段と、前記取得手段により取得された前記コンテンツデータが外部装置に送信されるように制御する送信制御手段とを有することを特徴とする。

40

【 0 0 1 6 】

上記課題を解決するために、本発明に係る情報管理方法は、ネットワークを介して外部装置と接続されると共に、デバイス装置に装着され、当該ネットワークを介して外部装置から受信した要求に応じて当該外部装置が当該デバイス装置を遠隔操作するための W e b ページを構成するコンテンツデータを当該外部装置に送信する情報管理装置における情報管理方法であって、前記外部装置から要求されたコンテンツデータが前記デバイス装置の機種に依存するものであるか否かを判断する判断ステップと、前記判断ステップによって

50

、前記コンテンツデータが前記デバイス装置の機種に依存するものでないと判断された場合、当該コンテンツデータを前記情報管理装置内の記憶部から取得し、前記コンテンツデータが前記デバイス装置の機種に依存するものであると判断された場合、前記デバイス装置の機種に依存し前記デバイス装置でのオプション機器の装着状況に応じて変わるコンテンツデータを前記デバイス装置内の記憶部から取得する取得ステップと、前記取得ステップにより取得された前記コンテンツデータが外部装置に送信されるように制御する送信制御ステップとを有することを特徴とする。

【 0 0 3 5 】

【 発 明 の 実 施 の 形 態 】

以下に、本発明の具体的な実施例を示す。

10

【 0 0 3 6 】

図 1 は本発明に係る印刷システムの構成を示す模式図である。

【 0 0 3 7 】

図 1 のシステムは、ホストコンピュータ 1 0 0 、印刷装置 1 2 0 とそれを接続する E t h e r - N e t 等のネットワーク 1 0 2 から構成される。また、印刷装置 1 2 0 には、この印刷装置をネットワークに接続するためのネットワークカード部 1 1 0 が、印刷装置 ネットワークカード間インターフェース 1 0 1 を介して装着されている。このネットワークカード部は、ネットワークボード、ネットワークインターフェース、ネットワークボックスとも呼ばれることがある。

20

【 0 0 3 8 】

ネットワークカード部 1 1 0 は、通信媒体 1 0 2 との通信を行い、サービスに応じてデータを次段に渡すネットワーク I / F 部 1 1 1 、ホストコンピュータ 1 0 0 から送信された印刷データを受信する I p d サーバ部 1 1 2 、ホストコンピュータ 1 0 0 から要求された印刷装置の 1 0 1 の状態を H T T P を使用して送受信する W W W サーバ部 1 1 3 (H T T P サーバ部) 1 1 3 、印刷データや機種依存コンテンツの転送を印刷装置 1 2 0 に対して指示する印刷装置 I / F 部 1 1 4 、機種に依存しない H T M L データ (H T M L コンテンツ) やビットマップデータ (ビットマップコンテンツ) を格納する機種非依存コンテンツ管理部 1 1 5 から構成されている。

【 0 0 3 9 】

一方、印刷装置 1 2 0 は、印刷装置 I / F 部 1 1 4 と通信を行い、サービスに応じてデータを次段に渡すネットワークカード I / F 部 1 2 7 、印刷データを受け取って格納する R A M あるいは H D から構成される受信バッファ 1 2 1 、機種に依存した H T M L データ (H T M L コンテンツ) やビットマップデータ (ビットマップコンテンツ) を格納する機種依存コンテンツ管理部 1 2 2 、受信バッファに入った印刷データを取り出して、 P D L (ページ記述言語) データを解析して、それを描画のための中間データに変換する P D L トランスレータ 1 2 3 、 P D L トランスレータ 1 2 3 が生成した中間データを一時的に蓄える中間バッファ 1 2 4 、中間データを取り出して、それをラスタデータに変換してプリンタエンジンに渡す描画部 1 2 5 、既知の電子写真技術あるいはインクジェット技術によって、描画部 1 2 5 により生成されたラスタデータに基づいて用紙に印字を行い、印刷用紙を排出するプリンタエンジン 1 2 6 から構成されている。

30

40

【 0 0 4 0 】

次に W e b コンテンツの説明を行う。 W W W サーバ部 1 1 3 は、ホストコンピュータ 1 0 0 上で実行される W W W ブラウザから、印刷装置 1 2 0 の状態監視、初期値設定、印刷ジョブのジョブ制御を行なえるようにするためのものである。特に、内部構造的には、 W W W サーバ部 1 1 3 は、ホストコンピュータ 1 0 0 から要求された W e b コンテンツを提供するデータベースとして動作している。

【 0 0 4 1 】

図 2 は、ここで使用される H T M L (H y p e r T e x t M a r k u p L a n g u a g e) の表記の一例を示す図である。この表記は説明を行うために単純化しており、実際にはさらに複雑な文書が記述される。

50

【 0 0 4 2 】

図 2 において、<!DOCTYPE HTML PUBLIC "-//IETF//DTD HTML 2.0//EN">の行は、S G M L 文書における文書型宣言であり、当該文書が H T M L で記述されたものであることを示している。

【 0 0 4 3 】

<HTML>と</HTML>とに囲まれた領域には、H T M L 文書の実際の内容が記述される。特に、<HEAD>と</HEAD>とに囲まれた領域は、H T M L 文書のヘッダ領域を示すものであり、<TITLE>と</TITLE>とに囲まれた「Web Console Interface」という文字列は、当該文書の主題を表している。<BODY>と</BODY>とに囲まれた領域は、H T M L 文書の内部を示しており、この中には、2 つの画像が取り込まれている。

10

【 0 0 4 4 】

1 つ目の画像データは、である。図 3 は、この 1 つ目の画像データが示すイメージの概観である。「/dev/device.png」は U R L 表記でないため、ネットワークカード部 1 1 0 や印刷装置 1 2 0 の内部に存在する内部データであることがわかる。さらに、「/dev/device.png」は印刷装置 1 2 0 の概観を示す画像データである。つまり、これは印刷装置 1 2 0 の機種に依存した機種依存な W e b コンテンツである。そのため、異なる機種の印刷装置、例えばカラー機種の印刷装置とカセットの段数の少ない機種の印刷装置とでは、概観が異なるため、それぞれの印刷装置の「/dev/device.png」は異なるイメージを表示するものになる。

【 0 0 4 5 】

2 つ目の画像データは、である。図 4 は、この 2 つめの画像データが示すイメージの概観である。これも、先ほどと同様に U R L 表記でないことから、ネットワークカード部 1 1 0 や印刷装置 1 2 0 の内部データであることがわかる。さらに、「/nic/error.png」は、カセット給紙を促すことを示す抽象的なイメージであることから、機種に依存しない機種非依存な W e b コンテンツである。

20

【 0 0 4 6 】

このように、W e b コンテンツには大きくわけて、機種に依存するもの、機種に依存しないものがある。そこで、ネットワークカード部 1 0 1 は、複数のモデルの印刷装置 1 2 0 に対して単一製品でサポートするべく、機種に依存する W e b コンテンツは印刷装置 1 2 0 内にある機種依存コンテンツ管理部 1 2 2 に格納され、機種に依存しない W e b コンテンツはネットワークカード部 1 0 1 内にある機種非依存コンテンツ管理部 1 1 5 に分けて格納される。機種依存コンテンツ管理部 1 2 2 に格納される W e b コンテンツは機種に応じたものが格納される。例えば、図 3 の「device.png」は、ある特定の機種の印刷装置の概観を示したものである。

30

【 0 0 4 7 】

なお、W e b コンテンツを識別する識別情報は、ファイル名、U R L (U n i v e r s a l R e s o u r c e L o c a t o r) などがある。

【 0 0 4 8 】

図 1 6 は、ホストコンピュータ 1 0 0 で実行される W e b ブラウザが、印刷装置 1 2 0 に関する情報を表示するときの処理を示すフローチャートである。この処理は通常、W e b ブラウザにおいて、印刷装置 1 2 0 (或いはネットワークカード部 1 1 0) に割り当てられたネットワークアドレスがユーザにより入力されるのに応じて、開始される。

40

【 0 0 4 9 】

まず、印刷装置 1 2 0 に関する情報を表示するための H T M L ドキュメントデータを要求する要求コマンドをネットワークカード部 1 1 0 に向けて送信する (ステップ S 1 6 0 1) 。この H T M L ドキュメントの一例が、図 2 に示されるものである。そして、要求に応じて、前記ネットワークカード部 1 1 0 から送られてきた H T M L ドキュメントデータを受信する (ステップ S 1 6 0 2) 。

【 0 0 5 0 】

つぎに、受信した H T M L ドキュメントデータを解析して (ステップ S 1 6 0 3) 、表示

50

に必要なWebコンテンツがあるかどうかを判定する(ステップS1604)。ある場合には(ステップS1604-ある)、つぎに、そのWebコンテンツを要求する要求コマンド(以下では、GET操作とも言う)をネットワークカード部110に送信して(ステップS1605)、Webコンテンツを受信する(ステップS1606)。

【0051】

さらに、ステップS1603において、HTMLドキュメントデータの解析を続け、必要なWebコンテンツがあるたびにステップS1605に進み、必要なWebコンテンツがなくなった時点でステップS1607に進む。

【0052】

最後に、HTMLドキュメントデータに基づいてWebコンテンツの表示レイアウトを決定し、Webコンテンツを表示する(ステップS1607)。その結果、図3や図4のような絵が、Webブラウザ上に表示され、ユーザは印刷装置に関する情報を視覚的に確認することができる。図13は、この処理によって、Webブラウザに表示される画面の一例である。

【0053】

次に、Webサーバ部113が、Webブラウザからの要求に応じて、これらの機種依存なWebコンテンツと機種非依存なWebコンテンツとを、どうやって切り分けて取得するかについて述べる。まず、両者の違いを区別するために、ディレクトリ構造が使用される。/dev/で始まるWebコンテンツの場合は、機種依存なWebコンテンツと判断して機種依存コンテンツ管理部122から取得し、/nic/で始まるWebコンテンツの場合は、機種非依存なWebコンテンツと判断して機種非依存コンテンツ管理部115から取得する。

【0054】

図5は、WWWサーバ部113の処理動作を示すフローチャートである。WWWサーバ部113は、印刷装置120の起動とともに起動し、電源遮断までサービスを継続して提供する。

【0055】

サービスを開始するとまず、GET操作を待つべく、GET操作がネットワークから受信されたかを判断する(ステップS501)。GET操作とは、HTTPにおけるWebコンテンツを要求する操作のことである。

【0056】

GET操作が来た場合(ステップS501-Yes)、要求されたWebコンテンツがないかどうかをチェックし、それがURL表記されたものであるか否かのチェックを行なう(ステップS502)。URL表記である場合(ステップS502-YES)、URL表記からディレクトリ部分を抜き出す(ステップS503)。例えば、指定されたWebコンテンツ名が、「http://printer.domain/dev/device.html」の場合には、「http://」はスキームであると判断し、「printer.domain」はドメインネームであると判断する。そして、両者を外して、「/dev/device.html」だけを、ディレクトリ部分として取り出す。

【0057】

さらに、ディレクトリ部分が、「/dev/」で始まっているかどうかのチェックを行う(ステップS504)。前述のように「/dev/」で始まるWebコンテンツ名は機種依存コンテンツとして印刷装置から取得するようににしている。

【0058】

そのため、「/dev/」で始まっている場合(ステップS504-Yes)には、印刷装置120に対し、当該Webコンテンツの獲得要求を発行する(ステップS505)。そして、返答がきたかを判定する(ステップS506)ことにより、返答を待ち、返答がきた場合には(ステップS506-Yes)、HTTPのリプライ形式によって、要求されたWebコンテンツをホストコンピュータ100に転送する。「/dev/」で始まるWebコンテンツではない場合には(ステップS504-No)、ネットワークカード部101が所有するWebコンテンツであるので、機種非依存コンテンツ管理部115から当該Web

10

20

30

40

50

b コンテンツを獲得し、H T T P のリプライ形式によって、W e b コンテンツをホストコンピュータ 1 0 0 へ提供する。

【 0 0 5 9 】

WWWサーバ部 1 1 3 が、「 /dev/ 」で始まる W e b コンテンツを印刷装置 1 2 0 内の機種依存コンテンツ管理部 1 2 2 から取得する場合には、印刷装置 I / F 部 1 1 4 とネットワークカード I / F 部 1 2 7 を介して W e b コンテンツの読み込みを実行するリモート関数コールを実行する。リモート関数コールは、ネットワークカード部 1 1 0 から印刷装置 1 2 0 に対してファイル転送を要求するものである。

【 0 0 6 0 】

図 8 は、リモート関数コールによる W e b コンテンツ読み出しを指示する要求パケットのパケット形式を示す図である。図 8 において、要求パケットは、R e m o t e P r o c e d u r e C a l l I D 8 0 1、R e q u e s t / A n s w e r F l a g 8 0 2、D a t a S i z e 8 0 3、R e q u e s t W e b C o n t e n t s P a t h 8 0 4 から構成されている。

【 0 0 6 1 】

R e m o t e P r o c e d u r e C a l l I D 8 0 1 は、W e b コンテンツの読み出し要求を示す I D で、図 8 では 100 という数値になっている。R e q u e s t / A n s w e r F l a g 8 0 2 は、このパケットが要求であるか、返答であることを示すもので、図 8 では 0 (要求) という数字になっている。D a t a S i z e 8 0 3 は、パケットのデータサイズを示す。R e q u e s t W e b C o n t e n t s P a t h 8 0 4 は、要求する W e b コンテンツのパスをしめすものであり、図 8 では「 /dev/device.html 」となっている。

【 0 0 6 2 】

パケットがネットワークカード I / F 部 1 2 7 によって正しく解釈されると、返答パケットが印刷装置 1 2 0 からネットワークカード部 1 1 0 へ送信される。図 9 は、リモート関数コールによる W e b コンテンツ読み出しを指示する要求パケットに対して、W e b コンテンツを送信する返答パケットのパケット形式である。

【 0 0 6 3 】

図 9 において、R e m o t e P r o c e d u r e C a l l I D 9 0 1、R e q u e s t / A n s w e r F l a g 9 0 2、A n s w e r S t a t u s 9 0 3、D a t a S i z e 9 0 4、R e q u e s t W e b C o n t e n t s D a t a 9 0 5 から構成されている。

【 0 0 6 4 】

R e m o t e P r o c e d u r e C a l l I D 9 0 1 は、W e b コンテンツの読み出し要求を示す I D で、図 9 では 100 (図 8 の要求に対するものであるから) という数値になっている。R e q u e s t / A n s w e r F l a g 9 0 2 は、このパケットが要求であるか、返答であることを示すもので、図 9 では 1 (返答) という数字になっている。A n s w e r S t a t u s 9 0 3 は、読み出しがうまくいったかどうかを示すものであり、図 9 では 1 (返答状態) になっている。D a t a S i z e 9 0 4 は、パケットのデータサイズを示す。R e q u e s t W e b C o n t e n t s D a t a 9 0 5 は、W e b コンテンツのバイナリデータを格納している。

【 0 0 6 5 】

WWWサーバ部 1 1 3 は、返答パケットを解析して、W e b コンテンツを取り出し、H T T P プロトコルを用いてホストコンピュータ 1 0 0 へ当該 W e b コンテンツを送信する。

【 0 0 6 6 】

ここで、各モジュール間の動作を時間を追って説明する。図 6 及び図 7 は、要求された W e b コンテンツの取得がどのように行われているかを示す遷移図である。縦軸は時間であり、ホストコンピュータ、ネットワークカード部、印刷部の要求と返答の変遷を示している。

【 0 0 6 7 】

10

20

30

40

50

図 6 は、ホストコンピュータが機種非依存な Web コンテンツを要求した場合の動作である。Web コンテンツはネットワークカード部 110 に存在するので、印刷装置に対する要求は発生させずに、Web コンテンツが機種非依存コンテンツ管理部 115 から取り出され、ホストコンピュータ 100 に送信される。

【0068】

図 7 は、ホストコンピュータが機種依存な Web コンテンツを要求した場合の動作である。Web コンテンツは印刷装置 120 に存在するので、印刷装置 120 に対する要求が発行され、Web コンテンツが機種依存コンテンツ管理部 122 から取り出されて、ホストコンピュータ 100 に送信される。

【0069】

上記においては、Web サーバ部 113 は、URL からパス部分を取った文字列（ディレクトリ部分）が「/dev/」を含むか否かによって機種依存、非依存を判断していた。しかし、パス上に「/dev/」を含むか否かではなく、機種依存コンテンツと認識される文字列リストを有し、これと比較する方法も挙げられる。

【0070】

図 10 は、新たに依存リスト 1016 を追加した印刷システムの構成を示す模式図である。依存リスト 1016 は、文字列のリストを格納したデータベースである。

【0071】

図 11 は、依存リストの内容を示す図である。例えば、図 11 では、この文字列のいずれかと同じ Web コンテンツの獲得に際しては、印刷装置 120 に対して Web コンテンツの要求を発行し、それ以外の場合にはネットワークカード部内から Web コンテンツを取得する。

【0072】

図 12 は、依存リストを用いた WWW サーバ部 113 の処理動作を示すフローチャートである。図 5 とことなるのは、ステップ S1204 における判定条件であり、ディレクトリ部分が依存リストに含まれるかどうかのチェックを行う。これによって、パス名やディレクトリ構造にこだわることなく、Web コンテンツを機種依存、機種非依存に分けて設定することが可能である。

【0073】

WWW サーバ部 113 は、印刷装置 120 の起動とともに起動し、電源遮断までサービスを継続して提供する。

【0074】

サービスを開始するとまず、GET 操作を待つべく、GET 操作がネットワークから受信されたかを判断する（ステップ S1201）。GET 操作とは、HTTP における Web コンテンツを要求する操作のことである。

【0075】

GET 操作が来た場合（ステップ S1201 - Yes）、要求された Web コンテンツがなにであるかをチェックし、それが URL 表記されたものであるか否かのチェックを行なう（ステップ S1202）。URL 表記である場合（ステップ S1202 - YES）、URL 表記からディレクトリ部分を抜き出す（ステップ S1203）。例えば、指定された Web コンテンツ名が、「http://printer.domain/device.html」の場合には、「http://」はスキームであると判断し、「printer.domain」はドメインネームであると判断する。そして、両者を外して、「/device.html」だけを、ディレクトリ部分として取り出す。

【0076】

さらに、ディレクトリ部分が、依存リストにあるかどうかのチェックを行う（ステップ S1204）。前述のように依存リストにある Web コンテンツ名は機種依存コンテンツとして印刷装置から取得するようににしている。

【0077】

そのため、依存リストにある場合（ステップ S1204 - Yes）には、印刷装置 120 に対し、当該 Web コンテンツの獲得要求を発行する（ステップ S1205）。そして

10

20

30

40

50

、返答がきたかを判定する（ステップS 1 2 0 6）ことにより、返答を待ち、返答がきた場合には（ステップS 1 2 0 6 - Y e s）、H T T Pのリプライ形式によって、要求されたW e bコンテンツをホストコンピュータ1 0 0に転送する。依存リストにない場合には（ステップS 1 2 0 4 - N o）、ネットワークカード部1 0 1が所有するW e bコンテンツであるので、機種非依存コンテンツ管理部1 1 5から当該W e bコンテンツを獲得し、H T T Pのリプライ形式によって、W e bコンテンツをホストコンピュータ1 0 0へ提供する。

【0 0 7 8】

なお、依存リストの変わりに非依存リストを持ってもよい。その場合には、ステップS 1 2 0 4において、非依存リストにあるかを判定し、ある場合にはステップS 1 2 0 8に進み、ない場合にはステップS 1 2 0 5に進むことになる。

10

【0 0 7 9】

以上のように、W e bコンテンツを機種依存なものと機種非依存なものに分類し、依存するものは印刷装置1 2 0内に、依存しないものはネットワークカード部1 1 0内に分散配置することにより、以下の効果を得ることができる。

【0 0 8 0】

まず、（1）ネットワークカード部1 1 0が、自機が接続される可能性のある全ての印刷装置のモデルに関して、W e bコンテンツを持つ必要がなく、ネットワークカード部1 1 0のメモリ容量のコストが削減されることが可能となる。

【0 0 8 1】

20

（2）同様の理由で、ネットワークカード部1 1 0は、将来開発されるであろう印刷装置に対応する際に、R O M交換なしで対応可能となる。

【0 0 8 2】

（3）WWWサーバ部1 1 3および機種非依存なW e bコンテンツがネットワークカード部1 1 0にあるため、ネットワークカード部1 1 0が不要な場合には、印刷装置2 0のコストアップを抑えることが可能となる。

【0 0 8 3】

以下では更に、機器の情報管理のために、機器の構成に対応した画像データを表示する方法について説明する。

【0 0 8 4】

30

図1 3は、ホストコンピュータ1 0 0上で実行されているWWWブラウザが、WWWサーバ部1 1 3が提供したH T M Lコンテンツやビットマップコンテンツを表示する表示画面を示す図である。

【0 0 8 5】

図1 3において、画面構成は2フレームに分かれている。すなわちモード切替フレーム1 3 0 1とモード表示フレーム1 3 5 1である。

【0 0 8 6】

モード切替フレーム1 3 0 1では、多くの機能を持つWWWサービスにおいて画面をモード分割して表示するために、各モードへの移行を促すボタンが配置されている。デバイス管理1 3 0 2、ジョブ管理1 3 0 3、デバイス管理1 3 0 4、サポートリンク1 3 0 5のそれぞれボタンがあり、これらのボタンが押されることにより各モードへの移行が行なわれる。

40

【0 0 8 7】

図1 3のモード表示フレーム1 3 5 1では、デバイス管理の状態フレームが表示されている。上から、機器を示すビットマップアイコン1 3 5 2、機器の名称1 3 5 3、機器の状態1 3 5 4、給紙装置の情報1 3 5 5、排紙装置の状態1 3 5 6、機器の構成を示すビットマップ画像1 3 5 7、ユーティリティを起動を示すボタン1 3 5 8、デバイス制御の起動を示すボタン1 3 5 9が表示されている。

【0 0 8 8】

ここで、機器の構成を示すビットマップ画像1 3 5 7は、実際の機器の構成に合わせた表

50

示を行なうため、給紙カセット、両面装置、排紙装置などのオプション機器の装着状況に応じて表示されるイメージが異なる。

【 0 0 8 9 】

図 1 4 は、ある機器における実装可能な機器構成を示す図である。当該機器は、標準構成で 2 5 0 枚のカセット 1 段を有している。オプションで 2 5 0 枚のカセット 1 段あるいは 5 0 0 枚のカセット 1 段をさらに接続することが可能である。なおかつそれとは別個に両面装置を接続可能である。両面装置は用紙を反転させるために、本体の下部に反転装置を挟む必要がある。

【 0 0 9 0 】

以上の仕様において、機器構成として可能な組み合わせは図 1 4 の通り 6 通りある。機器によっては、排紙装置も追加することが可能であり、さらに組み合わせは増加する。図 1 5 は、2 5 0 枚のカセット 1 段、5 0 0 枚のカセット 1 段、両面装置の組み合わせを表で示したものである。

【 0 0 9 1 】

なお、印刷装置 1 2 0 では、構成の実際のチェックを、機器のブート時に、プリンタエンジン 1 2 6 がコネクタの電氣的接続をチェックして判別している。

【 0 0 9 2 】

機種依存コンテンツ管理部 1 2 2 は、図 1 5 の表を保持する。そして、機器のブート時にプリンタエンジン 1 0 2 6 に機器構成を問い合わせ、図 1 5 の表に照らし合わせて機器の構成に合ったビットマップ画像を選択し、これを例えば image.png の問い合わせ結果とする。

【 0 0 9 3 】

すると、WWWサーバ部 1 1 3 が、ホストコンピュータ 1 0 0 からの「/dev/image.png」の要求に応じて、パス構成をチェックして機種依存コンテンツであると判断した後に（図 5 のステップ S 5 0 4 - Y e s）、機種依存コンテンツ管理部 1 2 2 に対して Web コンテンツの要求を発行する（図 5 のステップ S 5 0 5）。これに対して、機種依存コンテンツ管理部 1 2 2 は、ブート時に判断した内容から、1 4 - 1 ~ 1 4 - 6 のビットマップ画像の中から、機器構成に対応したビットマップ画像を選択し、その Web コンテンツを返答する。

【 0 0 9 4 】

以上によって、ホストコンピュータ 1 0 0 及びネットワークカード部 1 1 0 は、印刷装置 1 2 0 の現在の機器構成を知らなくても、単一の Web コンテンツ名を問い合わせるだけで、印刷装置 1 2 0 の機器構成に対応した画像データ（ビットマップデータ）を取得することが可能である。

【 0 0 9 5 】

また、HTML コンテンツも機器構成によって変わる場合がある。例えば、図 1 3 の給紙情報 1 3 5 5 に関して説明すると、この情報は、機器に接続されたカセット段における給紙情報を示すものであり、その時の機器構成によって、表示内容が異なる。例えば、オプションのカセットがない場合には、手差しトレイと上段カセットだけが表示される。2 5 0 枚のカセットあるいは 5 0 0 枚のカセットがある場合には、手差しトレイ、上段カセット、下段カセットが表示される。

【 0 0 9 6 】

この表示を切り替えるために、WWWサーバ部が持つ機能である S S I (S e r v e r S i d e I n c l u d e) を拡張することによって、機器構成に応じた HTML コンテンツをホストコンピュータに返す方法について述べる。

【 0 0 9 7 】

S S I とは、WWWサーバ部が獲得した Web コンテンツに対してパース処理を加え、特定のフォーマットで記述されたテキストに対して変換を行ってクライアントに渡す技術である。

【 0 0 9 8 】

10

20

30

40

50

SSIの書式の一つとして、ある変数の定義を比較する方法がある。図19は、その書式のフォーマットを示す図である(1:は行番号であり、説明のためにあるものである)。

【0099】

1行目は、環境変数ENVの中身を調べ、その値がVALUE1となっている場合は、構文Aがホストコンピュータに返される。そうでない場合は、3行目において今度は環境変数ENVの中身を調べて、その値がVALUE2となっている場合は、構文Bがホストコンピュータに返される。そうでない場合は構文Cが返される。

【0100】

ここで、ENVが特別な変数「LOW-CASSETTE-EXIST」の場合、WWWサーバ部113は印刷装置120に対して、下段のカセットが存在するかを機種依存コンテンツ管理部122に問い合わせる。この問い合わせは、リモート関数コールによる状態取得を想定しているが、他の機種構成手段を獲得する手段があればそれを流用してもよい(例えばジョブ制御言語のインターフェイスやSNMP/MIBのインターフェイス)。その結果、下段カセットがあった場合は、WWWサーバ部113は「LOW-CASSETTE-EXIST」の中身をTRUEに置き換える。

【0101】

つまり、WWWコンテンツが図20のような場合は、下段カセットがあった場合だけ下段カセットに関するHTML表記をWebコンテンツに追加してホストコンピュータ100に返すことが可能である。すると、WWWブラウザは、追加されたHTML表記に従って、下段カセットの給紙情報をも表示する。このことは給紙情報1355だけではなく、排紙情報1356でも流用可能である。

【0102】

給紙装置のように起動時に状態が確定する、いわば静的情報の場合について説明したが、情報によっては、機器の状態に応じて刻々とかわる場合がある。このような動的情報の場合について述べる。

【0103】

動的情報の一例は、状態1354のように、機器の状態をリアルタイムに示すものがある。状態LED、状態メッセージ、あるいは給紙情報1355の用紙残量を示すビットマップアイコンと%表示、あるいは排紙情報1356の排紙残量を示すビットマップアイコンと%表示がある。

【0104】

変数ENVが特別な変数「STATUS__LED」や「STATUS__MESSAGE」である場合、それぞれは、機器の状態に応じた状態LEDを示すビットマップ画像のファイル名、機器の状態に応じたメッセージを示す。従って、WWWサーバ部は、それぞれの変数を、ファイル名やメッセージに変換した後、Webコンテンツをホストコンピュータに渡す。

【0105】

WWWサーバ部113はSSI中の変数を検索し、「STATUS__LED」を見つけると、印刷装置120の現在の状態を示す状態コードを取得し、そのコードに応じてLEDの表示に対応する部分の画像データを青、黄、赤と切り替える。

【0106】

同様に「STATUS__MESSAGE」を見つけた場合には、印刷装置120の現在の状態を示す状態コードを取得し、さらに状態コードに対応した機器固有なメッセージ(図13でいう「印刷可能です。」というメッセージ)を獲得して、そのメッセージをホストコンピュータに返す。機器固有なメッセージは、機種依存コンテンツ管理部22に保有され、WWWサーバ部113は、専用のリモート関数コールを使用して呼び出し、メッセージを獲得する。

【0107】

動的情報がホストコンピュータに伝わるのは、ホストコンピュータのWWWブラウザでリロード(再読み込み)された場合、あるいはHTMLにおけるリフレッシュ指定時間後に

10

20

30

40

50

自動的に更新される。

【 0 1 0 8 】

以上のように、印刷装置で動的な状態変化が発生した場合にも、ホストコンピュータは、状態に対応したＬＥＤの画像データやメッセージを受け取ることが可能であるため、ホストコンピュータのＷＥＢブラウザを利用して、プリンタユーティリティと同等の効果を得ることが可能である。

【 0 1 0 9 】

図１７は、ネットワークカード部１１０を印刷装置１２０にインストールした状態を示す一部破断図である。図１７に示すように、ネットワークカード部１１０はネットワーク接続の為にフェースプレート１７０１を設置した印刷回路ボード１７０２から構成されており、コネクタ１７０３を介してプリンタインターフェースカード１７０４に接続されている。

10

【 0 1 1 0 】

プリンタインターフェースカード１７０４は、印刷装置１２０のプリンタエンジンを直接制御する。印刷データ及びプリンタ状態コマンドは、ネットワークカード部１１０からコネクタ１７０３を介して、プリンタインターフェースカード１７０４へ入力され、また、プリンタ状態情報はプリンタインターフェースカード１７０４からやはりコネクタ１７０３を介して得られる。ネットワークカード部１１０はこの情報を、フェースプレート１７０１のネットワークコネクタを介して、ネットワーク１０２上で通信する。同時に、印刷装置１２０は、シリアルポート１７０５及びパラレルポート１７０６等から、印刷データを受信することもできる。

20

【 0 1 1 1 】

また、図１８は、印刷装置１２０の一例であるレーザビームプリンタの内部構造を示す断面図である。主に、プリンタエンジン部１２６の構成を示している。レーザドライバ１８０１は、半導体レーザ１８０２を駆動するための回路であり、制御ユニット１８００が出力するビデオ信号に応じて半導体レーザ１８０２から発射されるレーザ光１８０３をオンオフ切替する。

【 0 1 1 2 】

レーザ光１８０３は、回転多面体鏡１８０４で左右方向に振られ、静電ドラム１８０５の上を走査する。これにより、静電ドラム１８０５の上に、文字パターン等の静電潜像が形成される。この潜像は、静電ドラム１８０５の周囲にある現像ユニット１８０６により現像された後、記録紙に転写される。

30

【 0 1 1 3 】

この記録紙にはカットシートが用いられ、カットシート記録紙は、レーザビームプリンタ１０２に装着された用紙カセット１８０７に収納されており、給紙ローラ１８０８及び搬送ローラ１８０９とにより装置内に取り込まれ、静電ドラム１８０５に供給される。

【 0 1 1 4 】

上記では印刷装置を例に説明したが、本発明は印刷装置だけに適用されるのではなく、複写機、複合機、スキャナ、ＦＡＸなどの周辺機器或いはデバイス装置に適用可能であることは言うまでもない。

40

【 0 1 1 5 】

以上のように、前述した実施形態の機能を実現するソフトウェアのプログラム（例えば、図５、図１２のフローチャートに対応するプログラム）をシステムあるいは装置に供給し、そのシステムあるいは装置のコンピュータ（またはＣＰＵやＭＰＵ）が記憶媒体に格納されたプログラムを読み出し実行することによっても、本発明の目的が達成されることは言うまでもない。

【 0 1 1 6 】

この場合、記憶媒体から読み出されたプログラム自体が本発明の新規な機能を実現することになり、そのプログラム及びそのプログラムを記憶した記憶媒体は本発明を構成することになる。

50

【 0 1 1 7 】

プログラムを供給するための記憶媒体としては、例えば、フロッピーディスク、ハードディスク、光ディスク、光磁気ディスク、CD-ROM、CD-R、磁気テープ、不揮発性のメモリカード、ROM、EEPROM等を用いることができる。

【 0 1 1 8 】

また、前述した実施形態の機能を実現するソフトウェアのプログラムが、電子メールやネットワーク通信になどのネットワークを介してシステムあるいは装置に供給されて記憶媒体に格納され、そのシステムあるいは装置のコンピュータ（またはCPUやMPU）が記憶媒体に格納されたプログラムを読み出し実行することによっても、本発明の目的が達成されることは言うまでもない。

10

【 0 1 1 9 】

また、コンピュータが読み出したプログラムを実行することにより、前述した実施形態の機能が実現されるだけでなく、そのプログラムの指示に基づき、コンピュータ上で稼働しているOS（オペレーティングシステム）等が実際の処理の一部または全部を行い、その処理によって前述した実施形態の機能が実現される場合も含まれることは言うまでもない。

【 0 1 2 0 】

さらに、記憶媒体から読み出されたプログラムが、コンピュータに挿入された機能拡張ボードやコンピュータに接続された機能拡張ユニットに備わるメモリに書き込まれた後、そのプログラムの指示に基づき、その機能拡張ボードや機能拡張ユニットに備わるCPU等

20

【 0 1 2 1 】

【発明の効果】

以上のように、本発明によれば、コンテンツデータを機種依存なものと機種非依存なものに分類し、依存するものはデバイス装置内に、依存しないものは情報管理装置内に分散配置し、以下の効果を得ることができる。

【 0 1 2 2 】

まず、（１）情報管理装置が、自機が接続される可能性のある全てのデバイス装置のモデルに関して、コンテンツデータを持つ必要がなく、情報管理装置のメモリ容量のコスト

30

【 0 1 2 3 】

（２）同様の理由で、情報管理装置は、将来開発されるであろうデバイス装置に対応する際に、ROM交換なしで対応可能となる。

【 0 1 2 4 】

（３）コンテンツデータが外部装置に送信されるように制御する送信制御手段および機種非依存なコンテンツデータが情報管理装置にあるため、情報管理装置が不要な場合には、デバイス装置のコストアップを抑えることが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図１】印刷システムの構成を示す模式図である。

40

【図２】HTML(Hyper Text Markup Language)の表記の一例を示す図である。

【図３】１つめの画像データが示すイメージの概観である。

【図４】２つめの画像データが示すイメージの概観である。

【図５】WWWサーバ部の処理動作を示すフローチャートである。

【図６】ホストコンピュータが機種非依存なWebコンテンツを要求した場合の動作である。

【図７】ホストコンピュータが機種依存なWebコンテンツを要求した場合の動作である。

【図８】リモート関数コールによるWebコンテンツ読み出しを指示する要求パケットの

50

パケット形式を示す図である。

【図 9】リモート関数コールによる Web コンテンツ読み出しを指示する要求パケットに対して、Web コンテンツを送信する返答パケットのパケット形式である。

【図 10】新たに依存リストを追加した印刷システムの構成を示す模式図である。

【図 11】依存リストの内容を示す図である。

【図 12】依存リストを用いた WWW サーバ部の処理動作を示すフローチャートである。

【図 13】ホストコンピュータ上で実行されている WWW ブラウザが、WWW サーバ部が提供した HTML コンテンツやビットマップコンテンツを表示する表示画面を示す図である。

【図 14】機器における実装可能な機器構成を示す図である。

10

【図 15】オプションによる機器構成の組み合わせを示したものである。

【図 16】Web ブラウザが、印刷装置に関する情報を表示するときの処理を示すフローチャートである。

【図 17】図 17 は、ネットワークカード部を印刷装置にインストールした状態を示す一部破断図である。

【図 18】印刷装置の一例であるレーザビームプリンタの内部構造を示す断面図である。

【図 19】SSI の書式のフォーマットを示す図である。

【図 20】SSI を用いた WWW コンテンツの一例を示す図である。

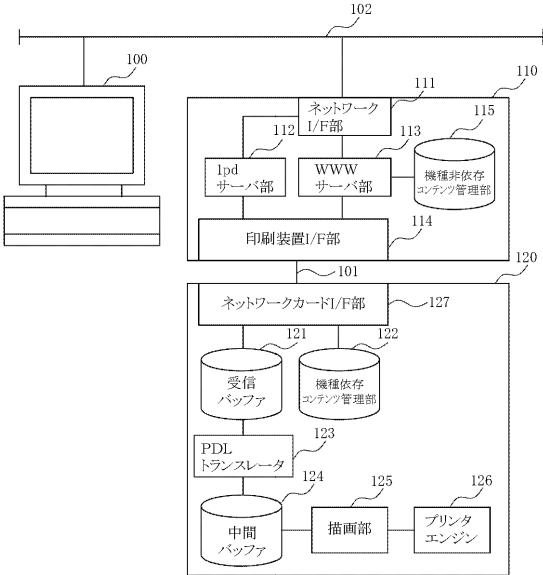
【符号の説明】

- 100 ホストコンピュータ
- 101 印刷装置 ネットワークカード間インターフェース
- 102 ネットワーク
- 110 ネットワークカード部
- 111 ネットワーク I / F 部
- 112 l p d サーバ部
- 113 WWW サーバ部
- 114 印刷装置 I / F 部
- 115 機種非依存コンテンツ管理部
- 120 印刷装置
- 121 受信バッファ
- 122 機種依存コンテンツ管理部
- 123 P D L トランスレータ
- 124 中間バッファ
- 125 描画部
- 126 プリンタエンジン
- 127 ネットワークカード I / F 部

20

30

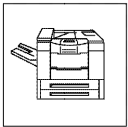
【図 1】



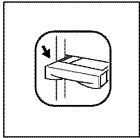
【図 2】

```
<!DOCTYPE HTML PUBLIC "-//IETF//DTD HTML 2.0//EN">
<HTML>
<HEAD>
<TITLE>Web Console Interface</TITLE>
</HEAD>
<BODY>
<IMG SRC="/dev/device.png">
<IMG SRC="/nic/error.png">
</BODY>
</HTML>
```

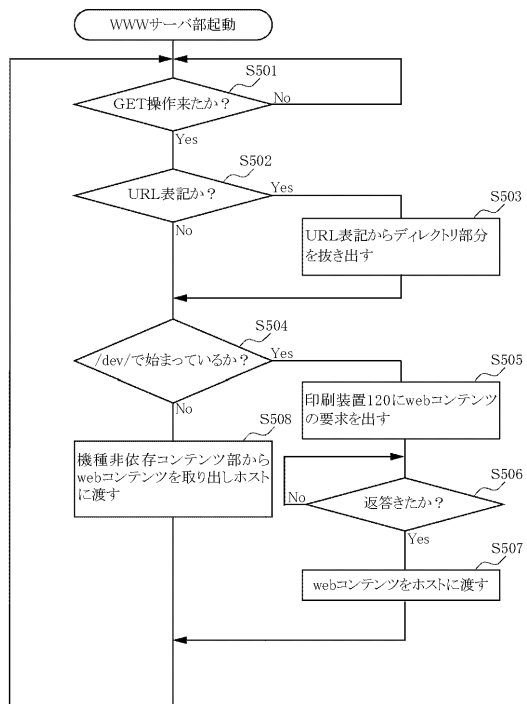
【図 3】



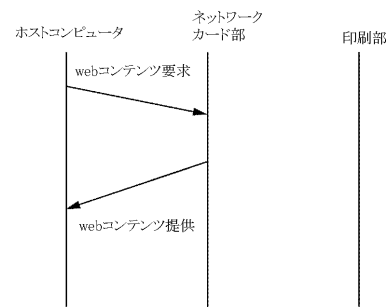
【図 4】



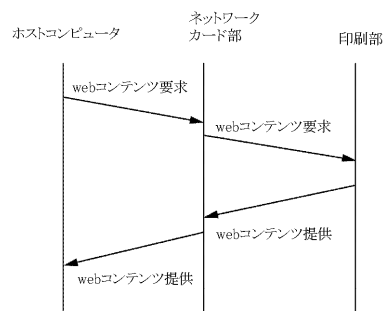
【図 5】



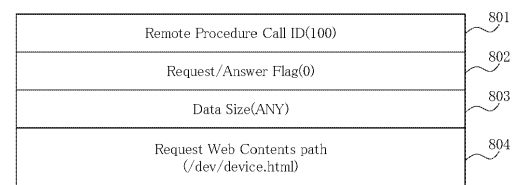
【図 6】



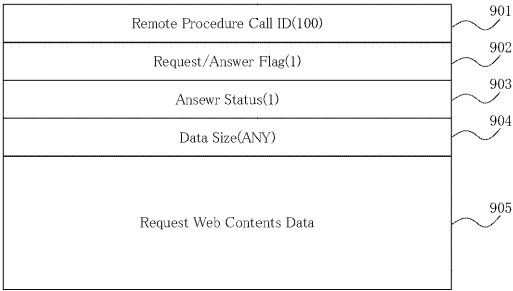
【図 7】



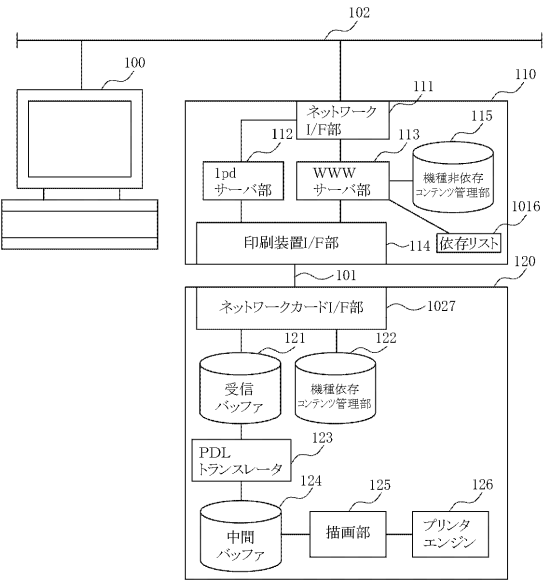
【図 8】



【図 9】



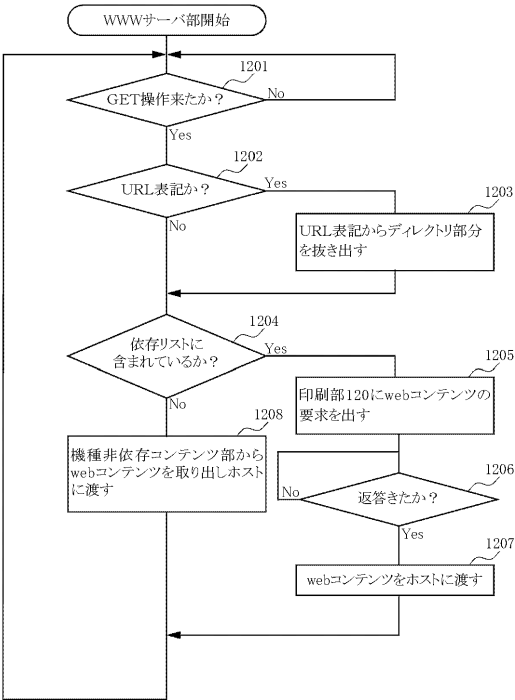
【図 10】



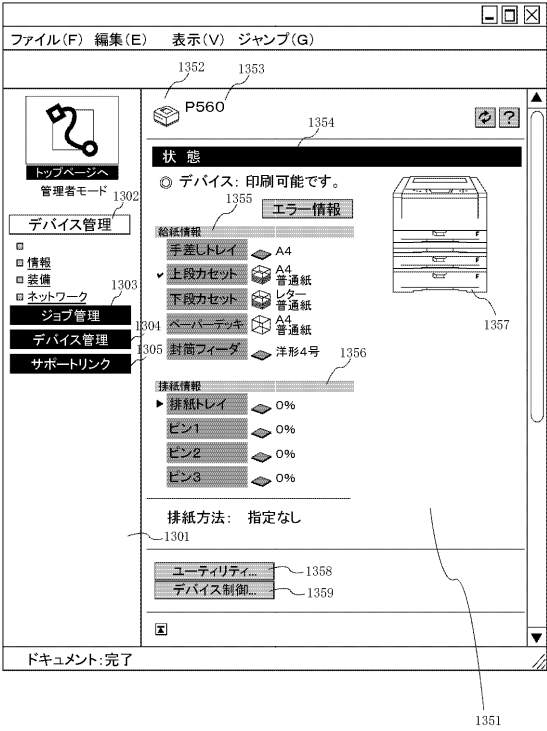
【図 11】

/device.png
/device.html
/config.html
/job.html

【図 12】



【図 13】



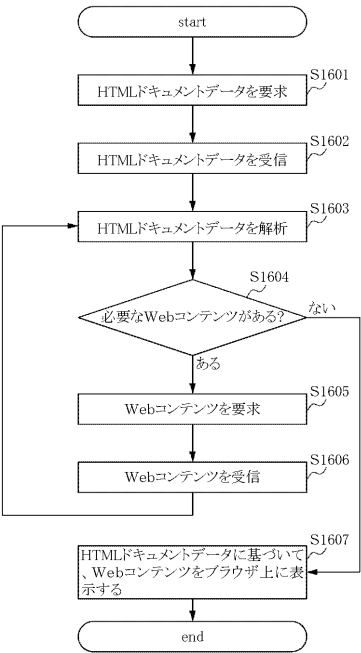
【図 14】



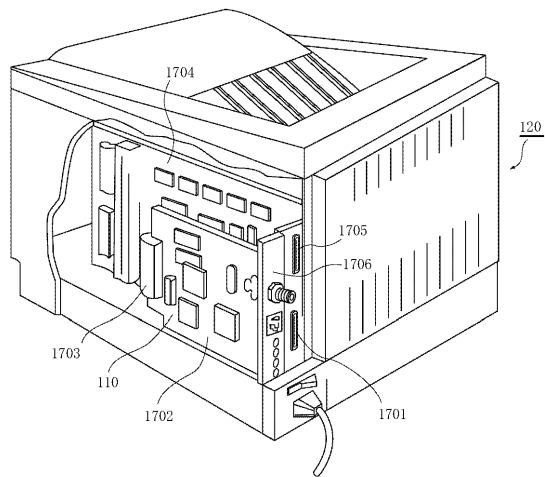
【図 15】

ビットマップ画像	250枚カセット	500枚カセット	画面装置
14-1	なし	なし	なし
14-2	あり	なし	なし
14-3	なし	あり	なし
14-4	なし	なし	あり
14-5	あり	なし	あり
14-6	なし	あり	あり

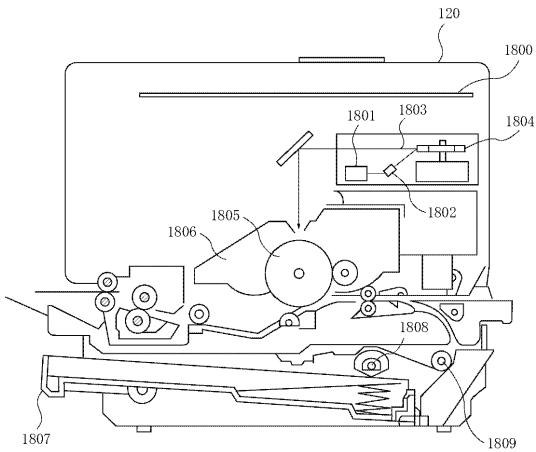
【図 16】



【図 17】



【図 18】



【図 19】

```
1:<!--#if expr="ENV=VALUE1"-->
2:   構文A
3:<!--#elif expr="ENV=VALUE2"-->
4:   構文B
5:<!--#else -->
6:   構文C
7:<!--#endif -->
```

【図 20】

```
<!--#if expr="LOW-CASSETTE-EXIST=TURE"-->
<下段カセットに関するHTML表記>
<!--#endif -->
```

フロントページの続き

- (56)参考文献 特開平 1 1 - 2 0 3 0 8 7 (J P , A)
特開 2 0 0 0 - 1 9 4 6 4 0 (J P , A)
特開平 1 1 - 1 3 4 1 4 0 (J P , A)
特開 2 0 0 0 - 1 4 8 6 3 2 (J P , A)
特開平 9 - 2 6 7 5 3 8 (J P , A)
特開平 1 1 - 2 0 3 2 3 1 (J P , A)
特開 2 0 0 0 - 1 8 1 8 3 1 (J P , A)
特開 2 0 0 0 - 1 4 8 4 3 1 (J P , A)
特開 2 0 0 0 - 1 0 7 4 7 (J P , A)
特開平 1 0 - 3 1 2 2 5 8 (J P , A)

(58)調査した分野(Int.Cl. , D B 名)

G06F 13/00
G06F 13/10-13/14
G06F 3/12
B41J 29/38